

バンディット250の オイル&フィルター交換マニュアル

■ 本マニュアルはバンディット250 (V/VZ/~) のオイル及びオイルフィルターの交換手順を、実際にあたくしこところりん♪のメンテ経験に基づき、作成したものです。本マニュアルの実践によって何らかの損害を被っても、当方では責任を負えませんので、その点をご理解頂いてお読みになられてください。

※ なお 読み進めるにあたっては基本、ナットやボルトの締め方、工具の使い方などはあらかじめ押さえておいてくださいね ^^

※あとバンディット400(V/VZ/~)の場合も、一応やり方としてはほぼ同じ手順で行けるので参考になると思います。

まず用意するもの。

- ① [オイルパックリ](#) (4ℓ以上入るものを推奨)
- ② [オイル受け皿](#)
- ③ [オイル](#)約 3 ℓ ・ ・ オイル交換のみなら2700ml、フィルター同時交換時は3000ml必要 (お好きなメーカーを)
- ④ [オイルフィルター、オーリング](#) (オイル交換 2 回に一度の割

合で交換する) オイルフィルターはバイクの型式に合わせて、決めること。ちなみに値段が高い程、性能が良いと判断していいです。でもまあ安い物でも十分機能は果たします。購入の際はOリング付きか要確認のこと！

⑤ドレンプラグ、ワッシャー・・・これはバイクショップで純正品を手に入れるのが一番安いです。パーツリストがあるならそれを見て、注文することもできます。大体ワンセットで100円するかしらないかです。あと、使いまわしはあまり推奨しません・・・ワッシャーを外すのが大変なので^^;

⑥工具（スパナ、レンチ等）車載工具にあったか記憶が定かではないので、できれば別に用意していたほうが無難、二種類必要です。フィルター用のサイズは10mmのスパナ、ドレンプラグ用は17mmのメガネレンチか、ボックスレンチが使いやすいです。

⑦ウェス（ぼろ布）

⑧作業用の軍手、ビニール手袋等

⑨パーツクリーナー（脱脂スプレー等）

さあこれらの準備が整ったら、いよいよ交換です♪

< 作業手順 >

①まずセンタースタンドがあれば、スタンドをかける。

できればエンジンを5分位かけてあげて、オイルを柔らかくしておいたほうがいいです。次にオイル給油口の栓を外す。これはオイルが抜けやすくするためですね。

次にドレンプラグを外しますが、左周りが外す方向なので間違えないように！あ、もちろん下から覗いて左周りですからね^^;

ある程度ゆるめたら下にオイル受け皿を置いてから外します。

オイルが一気に流れ出てくるので、 **目や皮膚にかからないように注意すること！**

②ある程度抜けたら、今度は軽くエンジンを始動してアクセルを数回程度回し、中のオイルをできるだけかきだしてあげる。これはやりすぎない程度にする（やっても20秒くらい）。ちなみにサイドスタンドの場合、バイクが傾いた状態なので左右に傾けながらやると、残りのオイルが出やすいですね。

③オイルが抜けきったらその後、新しいドレンプラグにワッシャーを取付けて、手できつくなるまで締めていきます。そしてレンチで締めつける前に、ドレンプラグ周辺に付着したオイルはウェ

スできれいにふきあげておきます。これはプラグを締めつける際に、きちんと必要なトルクがかかるようにするためです。

最後にレンチで締める時は**締め付けトルクに注意すること！**これは何回かやるとわかるのですが、あまり無理やり締めつけるとナットがなめてしまったり、締めすぎると次回交換時に外れなくなる場合があるので要注意です。まあトルクレンチを使うっていう手もありはしますがねえ～あまり気乗りはしまへんけど^^；あたくしの場合、長さ22.5cm（両端の穴の中心間の距離）のメガネレンチで、プラグに付けたガスケットがつぶれるまで締めていくと、明らかにそこから感触がきつくなる感じがわかるので、そこから軽くクイッと締めて終わりです。

そんなあたくしめも過去に締め付け過ぎて外せずに、ショップに持ち込んだ経験がありますのですよ（笑）下手するとオイルパンごと交換しないといけないはめになりますので、たんまり出費がかさむ最悪の事態になっちゃいますよ～^^；

④無事締めつけたら、新しいオイルを規定量入れていきましょう。最後に給油口の栓を閉めた後軽くエンジンをかけて、下からオイル漏れがしていないか確認すること。

⑤最後に使用済みオイルをオイルパッキリに入れて、漏れないようにちゃんと結んだら終了です♪あと使用済みのオイルはお住まいの地域の処理の仕方に従いましょう。

〈 オイルフィルターの交換手順 〉

※この作業は上記の②と③の間で行う。

レンチで、3か所のナットをそれぞれ少しずつ緩めていき、覆っている蓋を取り外します。この時、中のオイルが漏れてきますので、オイル受け皿を下に準備しておいてくださいね。あと、蓋の内部にはスプリングが付いているので、外す時ピョーンと飛び跳ねる可能性もありますので、なくさないように注意してくださいね。

中にある古いフィルターを取り外したら、今度は蓋内部に古いOリングが付いているので、これを取り外します。そして新しいOリングに軽くオイルを塗り付けて 蓋内側の溝に沿ってぴったりとはめ込みます。

次に新しいフィルター本体を、車体に向きを確認して差し込むよ

うに取り付けること。

ここで取り付ける向きがわからなくならないよう、最初に蓋を外した時点で取付状況を確認しておいたほうがいいですね。

あとは蓋を押さえつけながらはめ、手でナットを締めつけていきます。あとはドレンプラグの時と同様、トルクをかけすぎないように、3か所同時にゆっくり締めつけていきます。これもまた注意しないと、中のボルトがあっけなく折れてしまいますので要注意ですよ！

実はあたくし、この部分も過去にボキッ！とやっちゃいまして新品のボルトを買うはめになりましたのです（苦笑）値段は安いのでコストは心配いらないですけど、あれはショック受けますよ、まじで^^；

締めつけたら最終確認のためにエンジンをかけ、オイル漏れがしていないかチェックします。オイルがにじみ出てくるようなら、基本的に締め付けが足りないということですので、少一しずつ締めなおしていきましょう。

それが終わったら蓋周辺とエキパイに付着したオイルをパーツクリーナーでしっかりと脱脂します。これはしっかりと行ってお

くこと。

・ ・ 以上で一通りの説明を終わります。

なお、分かりやすく説明したつもりですけど、これを読んでどうしても手順が理解できかねる方は、諦めてショップに依頼することをおすすめします・ ・ 。

By ころりん♪